



特別会場（旧西山ふとん店）



伊萬里まちなか一番館

ひな祭りなら、 いまりで、決まり！

2月21日から3月14日まで、『古伊万里通りのおひなさま』がありました。これは、中心市街地ににぎわいを取り戻そうと、古伊万里通り商店会や市民ボランティアの女性たちが中心となって開催したものです。

かつて伊万里焼の積出港として栄え、川沿いの通りには商家が軒を連ねていた伊万里のまち。商家の娘が健やかに育つようと、春の節句にはおひな様が飾られていました。



限定グルメ
ひな寿司ランチ

その名残から、現在でも珍しくて貴重なおひな様が残っています。

2回目の開催となった今年は、10会場でさまざまな種類のひな人形が飾られたほか、ワークショップやイベント、限定グルメがあり、市内外から多くの人々が訪れていました。



あの人気漫画のキャラクターも
ひな人形に変身

古伊万里通りの おひなさま



谷口呉服店



エトワールホリエ



2日間限定でおひなマルシェも開催されました



さまざまな年代のおひな人形に見入る来場者



人の動き

令和3年3月1日現在

●人口	53,885人	(± 0)
●男	26,090人	(+ 5)
●女	27,795人	(- 5)
●世帯	23,498世帯	(+ 29)

() は前月比

この冊子は、1部当たり約40円で作成しています（人件費など間接経費は含まれていません）。また、企業広告による掲載料は、広報伊万里の作成費の貴重な財源となっています。

2か月に一度担当する『編集室から』の執筆。毎回、「ネタが無い」と悩みますが、いつの間にか13回目の執筆になりました。さて、本号の表紙を飾ってくれたのは伊万里高校「#キセキ部」の皆さん。今回の特集は#キセキ部広報班と編集長の合作です。伊万里を盛り上げようと、わくわくする取り組みが紙面に詰め込まれています。驚いたのが、部員の皆さんは本市が推進する「シティプロモーション」を以前から実行しているのです。ある取材の集合写真の撮影時、市民から「ハイチーズの代わりにキヤッチコピーの『いまりで、決まり！』と言おう」とご提案が。なるほど、自然と口角が上がり笑顔になります。あれ、私より市民の皆さんのほうが伊万里を盛り上げようとする意識が高いぞ。（智）

編集室から

●発行日／令和3年4月1日

●発行編集／伊万里市情報政策課シティプロモーション推進室 ☎(0955)23-4313 (直通) 〒848-8501 佐賀県伊万里市立花町1355番地1

●伊万里市のホームページ <https://www.city.imari.saga.jp/> ●印刷／山口印刷株式会社